



原水爆禁止世界大会実行委員会 御中

『原水爆禁止2020年世界大会』のご開催をお慶び
申し上げます。

本日の大会が、盛大かつ実り多いものとなりますことを
祈念いたしますとともに、本大会のご発展と皆様のご健勝
ご多幸を心よりお祈りいたします。

令和2年8月2日

西宮市長 石井 登志郎

Nishinomiya City



メッセージ

「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を一人類と地球の未来のために」をテーマに、原水爆禁止2020年世界大会が、オンラインで開催されますことは誠に意義深いこととお喜び申し上げます。

2017年には、私たちの悲願である「核兵器禁止条約」が国連で採択され、そして国際NGO「ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）」がノーベル平和賞を受賞されました。しかしながらその後、核保有国は同条約に同調せず、唯一の被爆国である日本は条約批准には至っておりません。

被爆75年の節目を迎え、新型コロナウイルス感染拡大など、先が読めない世界情勢の中、今一度原点に立ち返り、核兵器のない平和な世界の実現という願いをかなえるために、私たち一人ひとりに何ができるのか、市民のみならずとともに考え、着実に歩みを進めてまいります。

この原水爆禁止2020年世界大会が成功裏に閉幕し、さらに多くの国々の賛同を得られ、平和の輪が全世界に広がり、核兵器のない平和で公正な世界が一日も早く実現することを心から願っています。

令和2年（2020年）8月2日

宝塚市長 中川 智子



すべての人が夢や希望を抱き、核兵器や戦争のない安心して生活できる平和な社会の実現は、人類の願いであり、いつの時代であっても、地球の未来のために平和である文化を継承することは、不易の使命であります。

本市におきましても、人と人がつながり、平和で誰もが安心して生きられるまちづくりに、今後も全力で取り組んでまいりますので、皆様方には引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の今後益々のご活躍、ご健勝を祈念いたします。

令和二年八月二日

尼崎市長

稲村

和美

「原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）」メッセージ

原水爆禁止世界大会実行委員会の皆様方におかれましては、平素より、核兵器廃絶や平和啓発等、平和活動の推進に、ご尽力いただいておりますことに対して、心から感謝申し上げます。

今年は、戦後 75 年、被爆 75 年の重要な節目の年です。

本市においては、1990 年 11 月に「平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶、人権問題など、平和な社会づくりへの課題を多角的に捉えた様々な施策を展開しております。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、様々な平和事業が中止・延期を余儀なくされておりますが、このような状況下だからこそ、改めて平和の尊さを考え、戦争の悲惨さと平和の尊さを共有する必要があります。そして、次世代を担う子どもたちに、核兵器のない平和な未来を残すために、今できる平和への取組を継続していく必要があると考えており、本大会の開催をはじめ、皆様方の平和へのたゆまぬ歩みに対しまして、心から敬意を表します。

最後になりましたが、皆様の平和への活動に対しまして、改めて、感謝申し上げますとともに、「原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）」のご成功を祈念いたしまして、私のメッセージといたします。

2020年8月吉日

伊丹市長 藤原 保幸

原水爆禁止2020年世界大会のご開催を
心よりお喜び申し上げます。

「核兵器のない平和で公正な世界のため
に」を大会のテーマに、日々活動されます皆
様の並々ならぬご尽力に深く敬意を表します
とともに、今大会の成功をご祈念いたします。

令和2年8月

高砂市長 都倉達殊

「原水爆禁止2020年世界大会」のご盛会を心からお喜び申し上げます。

核兵器のない平和で公正な世界を実現するため、世界大会が開催されることに深く敬意を表します。広島・長崎への原爆投下から75年の節目となる今年、大会を契機として、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向けて大きく前進することを願っています。

本大会の成功と皆様のご活躍、ご健勝をお祈りいたします。

令和二年八月二日

兵庫県三木市長 仲田一彦

「原水爆禁止 2020 年世界大会」メッセージ

「原水爆禁止 2020 年世界大会」の開催にあたり、関係各位のご尽力に心より敬意と感謝を申し上げます。

核兵器も戦争もない平和な世界を実現することは、全人類共通の願いであります。

しかしながら、核兵器の脅威は依然として存在し、世界の各地では内戦や紛争が後を絶ちません。

こうした世界情勢であるからこそ、全ての国の全ての核兵器が廃絶されることを世界に発信することに大きな意義があると存じます。

今年は、広島と長崎に原爆が投下されてから 75 年、国連創設 75 年の節目の年にあたります。被爆者の方々の願い、平和を願う方々の想いを世界に発信し、核兵器廃絶に向けた大きな契機となる意義ある大会になることを切に願っております。

世界唯一の被爆国として、これからも「ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ」を世界に広げていくため、共に頑張りましょう。



兵庫県宍粟市

市長 福元晶三

未来へつなぐ兵庫中央交流都市
あなたが好きなまち



朝来市

平素は市行政に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度「原水爆禁止 2020 年世界大会」がオンラインにて開催されますこと、心からお喜び申し上げます。また、日頃から核兵器廃絶を通して平和を願うこの取り組みを続けておられますことに、深く敬意と感謝を表します。

核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を心から願っております。

後になりましたが、貴会の今後ますますの御発展を御祈念申し上げます。

令和 2 年 8 月 吉日

原水爆禁止世界大会実行委員会 御中



朝来市長 次藤 昭

広島と長崎に人類史上初めて原子爆弾が投下されてから、75年目の夏を迎えようとしています。原子爆弾によって、2つの街は壊滅し、30万人以上の生命が奪われました。投下から70年以上たった今でもなお、心と体に傷をかかえ苦しんでおられる原爆被害者の方々の現状を拝察いたしますと、平和への思いをより一層強くする次第でございます。

世界で唯一の被爆国に住む私たちにとって、核兵器や戦争のない平和な社会を築くため、世界中の人々に対して核兵器廃絶や戦争の愚かさを訴えていくことは、将来にわたって課せられた重大な使命であります。

核非武装都市宣言を行っている本市といたしましても、引き続き人類の繁栄と永久平和に向けた取り組みを続けてまいりますので、皆様方におかれましては、今後、活動の輪をさらに広げられ、平和の尊さを発信し続けられますことをお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご参加の皆様のご健康と今後の活動のますますのご発展を祈念し、私のメッセージとさせていただきます。



2020年8月

明石市長 泉房穂

原水爆禁止 2020 年世界大会が、盛大かつ厳粛に開催されますこと、心からお喜び申し上げます。

世界で唯一戦争による被曝を体験している国民として、「恒久平和と安全」が全世界の人々の共通の願いであり、被曝の恐ろしさや苦しみを踏まえ、この惨禍を二度と繰り返さぬよう訴えるとともに、このメッセージが一人でも多くの方へ届くことを願ってやみません。

今後も全世界から一日も早く核兵器を廃絶するとともに、恒久平和が訪れることを皆様とともに訴えてまいりたいと考えております。

日頃の皆様方の並々ならぬご尽力に敬意を表しますとともに、ご参集の皆様方の今後益々のご活躍をご期待いたします。

令和 2 年 7 月 2 日

兵庫県香美町長 浜上 勇人